

東京都認知症介護指導者会市部ブロック主催『認知症リレー研修』を通じて

東京都認知症介護指導者 奈良田敬

キーワード: 啓蒙、繋がり、学習機会

活動の概要(活動の主体:東京都認知症介護指導者会市部ブロック)

【活動目的】

認知症介護指導者を知ってもらうための啓蒙活動を行うほか、認知症介護指導者と地域住民、専門職の繋がる機会を作る。また、認知症についての学習機会を提供する。

【活動内容】

2018年度より八王子市にある、市民センターを借りて1コマ1時間30分程度で、3会場4コマの全12コマの講義・講演を実施した。内容としては、認知症の基本的理解、認知症の人のアセスメントなど専門職向け研修と、地域の方も含めた全参加者を対象に、地域の在宅医の講演やシンポジウムなどを開催した。また、認知症介護指導者等との交流スペースとしてカフェエリアも設置し、多くの方にご利用いただきました。

活動のきっかけ、背景(指導者としての立場で)

地域で活動していく中で、専門職にも、地域住民にも認知症介護指導者を知られていなかった為、啓蒙活動が必要と感じた。また、認知症実践者研修、実践リーダー研修だけではなく、専門職が学べる環境を提供できればと思い始めました。

活動の経過と成果

【活動の経過】

2018年度5月:東京都認知症介護指導者会が4ブロックに編成され、市部ブロックとして活動内容を検討し、2019年度に認知症リレー研修の実施を決定した。11月:八王子市、東京都、東京センター、東京都社会福祉協議会、認知症ケア学会などに後援依頼。八王子市には、後援依頼と同時に会場を優先して貸していただけるよう相談し、了承を得る。また、講師の調整を行う。調整の際、八王子市市内の地域包括支援センターなどにも協力依頼を行い、また、認知症サポーター養成講座やカフェエリアで担っていただいた。

2019年2月:第1回認知症リレー研修 in 八王子を開催チケットは当日販売。(参加者:248名、運営・ボランティア:43名)

2019年度2018年度の参加者人数、アンケートの結果が好評だったため、2019年度も認知症リレー研修の開催を計画しました。講義内容は、一部変更して実施。その他は、昨年同様で計画しました。

2019年10月:認知症リレー研修開催に向けて、八王子市、東京都、東京センター、東京都社会福祉協議会、認知症ケア学会などに後援依頼を行う。昨年同様八王子市に会場を優先して貸していただけるよう相談し、了承を得る。また、講師の調整を行う。今回は八王子市の在宅医に講演を依頼した。

2020年2月:新型コロナウイルス感染症が流行しはじめ、実施をするか中止をするか判断に迷ったが、会場の人数を制限し、感染症対策を行い実施。(マスク、消毒液を各会場に設置、消毒を講義が終了するごとに行いました)。アンケートについては、感染症拡大予防のため未実施。(参加者:98名、運営・ボランティア25名)

【活動の成果】

・2019年度認知症リレー研修については、参加者より「充実した研修内容でした」「毎年開催して欲しい」「こういった学びの場や交流の場は貴重である」などの声をいただいた。

・研修の発信を行ったが、想定していた人数より多くの方に参加いただけた。

(2018年度は120名程度を想定。2019年度は50名程度を想定。)

今後の展望

新型コロナウイルス感染症などで、開催方法など検討しなければならないが、出来るだけ毎年開催していきたい。また、八王子市以外の市部ブロック(府中市、羽村市、小平市など)で開催して行きたいと考えている。